



東北の子どもたちと世界の子どもたちを結ぶ

Tegami Project 第1回『ケニア編』開催しました

世界中の子どもたちから、東北の子どもたちに向け、たくさんの手紙や絵が届いています。同年代の子どもたちの想いに触れることで、被災した子どもたちの心に笑顔が届くよう、また海外の子どもたちとの関わりを通して、これからの自分の夢や可能性を大きく持てるようにする企画です。

7月21日(木) 10:20～ 3時間目

仙台市立中野小学校 5年生のクラスで開催しました。学校が津波で被災したため、現在は中野栄小学校を間借りして授業が進められています。みやぎ生協学校部の小野英男常務(県ユニセフ協会監事)から紹介していただき、実現しました。

子どもたちは「いっしょにサッカーやろう!」「いっしょに野球やろう!」「仙台は七夕や花火大会があるよ!」など、ケニアのお友だちに仙台からのメッセージや絵を返信しました。



県中学校総合体育大会で支援をしました

震災の影響で開催が危ぶまれた県中総体の開会式が、7月22日(金)シェルコム仙台で行われました。ユニセフは被災した生徒さんへ交通費や宿泊費の支援、大会の優勝カップなどの支援を行いました。



©日本ユニセフ協会

女川町ちゃっこい絵本館のお引越し

7月22日(金)女川第二小学校に設置された「ちゃっこい絵本館」は、女川第一小学校の児童が移ってくるため、3階から2階に引越しをしました。日本ユニセフ協会の職員とともに、県協会のボランティアさん5名が早朝から女川に出かけ、引越しの一切をお手伝いしました。(千葉さん、千葉小雪さん、平田さん、蝦名さん、尾木さん) 子どもさんだけでなく、大人の方にも親しまれる絵本館で、ユニセフの「ちっちゃな図書館」から提供された絵本や児童書で作りました。

【これからのお知らせ】 ウサギ風船ひろば ～親子参加の紙芝居と子育て相談のひろば～

日時: 7月30日(土) 10時～12時
会場: 亘理町立中央児童センターにて
主催: (公財) 日本ユニセフ協会
協力: 日本プレイセラピー協会

内容: 紙芝居とお絵かき・工作
対象: 未就学児、小学校低学年の子どもと保護者
特大紙芝居のお話を聞いて、お絵かきや簡単なダンボール工作で遊べます。ウサギ風船でも遊べます!

次回は、ちゃっこい絵本館引越しのボランティアをした方々に感想を聞いてみたいと思います。朝の6:30集合でかけて、とても大変だったことでしょう。5名の中には、初めて被災地を見た方もいらっしゃると思います。できることを、できる場所で。これからも少しずつ行動していきましょう。「ウサギ風船ひろば」へ参加しませんか? 五十嵐より

